

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅱ		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・理論ではエステティック機器の使用方法と効果、禁忌について学び、またブランド化粧品のコンセプトや化粧品成分についてと脱毛の理論と毛周期について学ぶ。</p> <p>・授業は講義形式で行い、エステティックの技術に必要な機器の使用方法や効果、禁忌事項の理解度を深め実技演習につなげて行く授業である。</p>						
到達目標	<p>①エステティック機器の使用方法と効果、禁忌について理解し、実習で使用する。</p> <p>②肌に合った化粧品の選択ができるようにする。</p> <p>③毛周期を理解し、脱毛について説明ができるよう理解する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	G5について						
第2週	低周波機器について						
第3週	サクション(ボディパター)について						
第4週	背中のブラシクレンジング、美白トリートメントについて						
第5週	フットのケアについて						
第6週	フェイシャルカウンセリング機器について						
第7週	フェイシャル機器 パターについて						
第8週	フェイシャル機器 イオン導入について						
第9週	フェイシャル 超音波 エクスフォリエーターについて						
第10週	毛周期について						
第11週	ワックス脱毛について①						
第12週	ワックス脱毛について②						
第13週	ブランド化粧品のコンセプトについて						
第14週	ブランド化粧品の成分について						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>・※評価目安:筆記試験の結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとし9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック応用演習		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティック技術で必要とされる色々なエステティック機器を体験することにより、エステティックの奥深さや効果、可能性を体感する。</p> <p>・授業は実技演習で行い、お客様肌の悩みを伺い、お悩みに合わせた化粧品の選択をし、効果の違いを実感する。また化粧品ブランドによるコンセプトの違いや、効果効能の違いを体感すると共にワックス脱毛の技術も学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①いろいろなエステティック機器を体験しエステティックの効果や可能性を理解する。</p> <p>②肌の悩みに合わせた化粧品の選択をし、効果を理解する。</p> <p>③化粧品ブランドによるコンセプトの違いや、効果効能の違いを理解する。</p> <p>④ワックス脱毛の技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	G5						
第2週	低周波機器						
第3週	サクシヨン(ボディパター)						
第4週	背中ofブラシクレンジング、美白トリートメント						
第5週	フットのケア						
第6週	フェイシャルカウンセリング機器						
第7週	フェイシャル機器 パター						
第8週	フェイシャル機器 イオン導入						
第9週	フェイシャル 超音波 エクスフォリエーター						
第10週	フットのケア						
第11週	ワックス脱毛						
第12週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第13週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第14週	フェイシャルトリートメント 選択化粧品						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し実技試験の結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技試験(80%)・授業態度(10%)・出席状況(10%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	メイクアップ応用演習		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	中山 いずみ	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・メイクアップの基礎知識、ベーシックな技術、アイテムの知識をしっかりと身に付け感性、センスを磨き、テーマメイクができるよう授業を進めていく。</p> <p>・授業は実技演習で行いデモンストレーションで理解度を高め、またより実践的な授業を行う上で相モデルで繰り返し練習をする。</p>						
到達目標	<p>基本のテーマメイクである「フレッシュ」「キュート」「エレガント」「クール」の4つのテーマを習得する。またコミュニケーションを高めるために、カウセリングを行うことを目標にする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	メイクアップツール、基本のプロポーション						
第2週	肌色の肌色の分類、肌色のイメージ、肌色(皮膚の色)の構成						
第3週	メイクアップの錯覚、メイクアップの色、質感						
第4週	メイクアップイメージの色、形、質感   メイクプランシート作成						
第5週	テーマメイク「キュート」   メイクプランシート作成						
第6週	テーマメイク「キュート」   相モデルレッスン						
第7週	テーマメイク「フレッシュ」メイクプランシート作成						
第8週	テーマメイク「フレッシュ」相モデルレッスン						
第9週	テーマメイク「エレガント」   メイクプランシート作成						
第10週	テーマメイク「エレガント」相モデルレッスン						
第11週	テーマメイク「クール」メイクプランシート作成						
第12週	テーマメイク「クール」相モデルレッスン						
第13週	実技テスト(4つのテーマより)						
第14週	作品制作						
第15週	作品制作						
評価方法	<p>・学期末試験を実施し、実技試験の結果と小テスト・授業態度や出席状況及び提出物を考慮し成績を評価する。</p> <p>評価目安:実技テストと小テスト(60%)・授業態度や身だしなみ(30%)・出席状況(10%)</p>						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト3級、2級、JMAセルフメイク検定 公式テキスト セルフメイクテキストブック						
実務経験	株式会社 COパンドーラ(メイク担当)3年勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ネイル応用演習		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	石井貴子	学年・学期	2年・前期	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・7月のアジアネイルフェスティバルに行くまでに、いろいろなネイル材料に触れて知ってもらい、自分で材料を選んで使える知識を持てるようにする。</p> <p>・授業は主に実技演習で行い、相モデルを中心に授業を進め、ネイル専攻以外の学生達が前期の授業中で少しでも楽しみながら実践・実用的なネイル技術を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>・学んだ技術を組み合わせ、ネイルチップを制作し、ネイル教室に飾り、1年生が見たときに、「専攻外のネイル授業でも、ここまでの事が出来るようになるんだ」と、思ってもらえるような技術を身に付けさせる。</p>						
授業計画・内容							
第1週	アクリル 長さ出し説明、デモ、ミクスチュア玉とり・アルミ四角・紙の上での練習						
第2週	アクリル ミクスチュア玉とり・アルミ四角・紙の上での練習、チップオーバーレイデモ、ハンドで練習						
第3週	アクリル エンボス(丸・涙型・ハート・花)						
第4週	アクリル エンボス(うさぎ・リボン) 立体アート(5枚花・バラ)						
第5週	フットジェルネイル相モデル練習(ワンカラー・1本のみラメ仕上げ) <前半組>						
第6週	フットジェルネイル相モデル練習(ワンカラー・1本のみラメ仕上げ) <後半組>						
第7週	ジェルアート						
第8週	ジェルアート						
第9週	ジェルアート						
第10週	ジェルアート						
第11週	フットジェルネイル(自分の足に自由なデザインでジェルを施す)						
第12週	チップ制作(デザインおこし)						
第13週	チップ制作						
第14週	チップ制作						
第15週	ネイルケア相モデル練習、1分間スピーチ						
評価方法	<p>・学期末試験は実施せずに、出席状況、授業態度、チップ制作の仕上がり及び1分間スピーチを考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:出席状況(60%)・授業態度(20%)・チップ制作(10%)・1分間スピーチ(10%)</p>						
教科書 教材など	<p>・教材は学校共有教材。 ・ジェル筆5本組セットのみ配布。</p>						
実務経験	<p>・サロンワーク12年 (有限会社 うるわし) JNA認定講師10年、OPIJAPAN認定エデュケーター</p>				<p>実務経験のある教員による 授業科目</p>		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	作品制作			コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	木村 裕美/時實 好恵		学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・自由な発想とテクニックで、ヘアやメイクでイメージを表現する技術を中心に学び、撮影やショーで「伝える」ための作品を制作する。</p> <p>・授業は主に実技演習で行い、校外実習や、プロスタイリストによる特別授業を設け、学生だけでは難しいよりクオリティの高い作品を制作する。同時に、グループでアート作品を制作することで社会に出た際に必要となる協調性を養う。</p>							
到達目標	<p>・学生達が 大原美術館や J's hair から得た はっそうや感性を生かした作品を制作し残す。また今まで学んできたことをファッションショーで発揮できるように指導する。</p>							
授業計画・内容								
第1週	模写メイクデザイン決定							
第2週	模写メイク撮影①							
第3週	模写メイク撮影②							
第4週	絵画からのインスピレーション①(大原美術館見学)							
第5週	絵画からのインスピレーション②レポート提出・デザイン画作成							
第6週	絵画からのインスピレーション③制作・撮影							
第7週	絵画からのインスピレーション④制作・撮影							
第8週	J's hair イベント準備							
第9週	J's hair イベント準備							
第10週	J's hair イベント準備							
第11週	OBMコレクション準備							
第12週	OBMコレクション準備							
第13週	OBMコレクション準備							
第14週	OBMコレクション準備							
第15週	OBMコレクション準備							
評価方法	<p>・定期試験を実施せずに、実習実技内容や協調性と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実習実技内容や協調性(90%)・授業態度や出席(10%)</p>							
教科書 教材など	特になし							
実務経験	木村 裕美:Fika beauty&relax オーナー歴1年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	衛生管理		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>学生たちが将来就業するビューティ業界においては、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、適切な衛生管理が求められる。お客さまとサービス担当者の健康を守るための適切な衛生措置や消毒方法について学ぶ。</p> <p>授業は講義形式で行う。</p>						
到達目標	<p>サロンにおける衛生管理を適切かつ徹底して行うことができる知識や技能を知り、お客さまの信頼を得ることができるサービス担当者の基本を身につける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	衛生管理の授業概要、受講上の注意						
第2週	衛生管理の考え方 エステティックサロンにおける衛生管理の対象						
第3週	エステティックサロンにおける衛生基準						
第4週	血液、体液の処理方法 感染経路						
第5週	病原微生物						
第6週	正しい手洗いの方法 器具、備品の洗浄消毒の手順						
第7週	消毒方法						
第8週	感染症の法規制						
第9週	ネイルサロンにおける衛生管理の対象						
第10週	ネイルサロンにおける衛生基準						
第11週	揮発性溶剤に関する知識 リスクアセスメント 消防法						
第12週	薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保などに関する法律)						
第13週	事例解説①(揮発性溶剤に関する事例解説)						
第14週	事例解説②(化粧品に関する事例解説)						
第15週	事例解説③(使用器具などの衛生措置に関する事例解説)						
評価方法	<p>定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%) 授業態度や出席(20%)</p>						
教科書 教材など	「エステティックの衛生基準」、「ネイルサロン衛生管理マニュアル」、プリント						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック理論Ⅲ		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティックの基本は内面から美しくすることや人の肌に直接触れるため、エステティック機器学、化粧品学、栄養学、運動生理学、衛生消毒などを学ぶ。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、肌タイプやトラブルの原因を見分け、トリートメントプランの組み立てやホームケアアドバイスができる力を養う。また認定試験の口頭試問対策を学習する。</p>						
到達目標	<p>①総合的な学習を通じて、お客様の肌を見分ける力、トリートメントプランを立てる力、ホームケアアドバイスができる力を身に付ける。</p> <p>②実技試験の口頭試問に答えられる力を身に付ける。</p> <p>③センター試験の筆記試験に合格できるよう知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	エステティック機器学①		第16週	運動生理学①			
第2週	エステティック機器学②		第17週	運動生理学②			
第3週	エステティック機器学③		第18週	運動生理学③			
第4週	エステティック機器学④		第19週	運動生理学④			
第5週	エステティック機器学⑤		第20週	運動生理学⑤			
第6週	化粧品学①		第21週	衛生消毒			
第7週	化粧品学②		第22週	サロンでの救急法			
第8週	化粧品学③		第23週	フェイシャルエステティックについて			
第9週	化粧品学④		第24週	ボディエステティックについて			
第10週	化粧品学⑤		第25週	口頭試問対策			
第11週	栄養学①		第26週	口頭試問対策			
第12週	栄養学②		第27週	口頭試問対策			
第13週	栄養学③		第28週	口頭試問対策			
第14週	栄養学④		第29週	センター試験対策			
第15週	栄養学⑤		第30週	センター試験対策			
評価方法	<p>・定期試験で筆記試験を実施しその結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	皮膚科学Ⅱ		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・体表面全体を覆う人体最大の臓器である皮膚は、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解する。</p> <p>・授業は講義形式で行い、皮膚の働きと仕組みをより深く理解し、正しいスキンケアについて学ぶ。また肌分析について学び、変化する環境に対してどのようなスキンケアをしたらよいかを学習する。</p>						
到達目標	<p>①肌をタイプ別に分類し、見分ける力を養う。</p> <p>②お客様の肌のトラブルの原因は何か、どんな要因が関係しているか分析し、どんなスキンケアが必要かご提案できる力を養う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	肌の美しさを損ねる要因(紫外線・冷え)						
第2週	肌の美しさを損ねる要因(乾燥・エイジング)						
第3週	肌の美しさを損ねる要因(ホルモンバランス・ストレス)						
第4週	さまざまな肌状態 肌意識の年代変化						
第5週	美しい肌と衰えた肌						
第6週	色素沈着を起こした肌						
第7週	ニキビ						
第8週	肌荒れと敏感						
第9週	肌と環境 肌と地域気候						
第10週	肌と気象の季節区分						
第11週	肌分析①						
第12週	肌分析②						
第13週	季節に合わせた肌トラブルとその対策①(春・夏)						
第14週	季節に合わせた肌トラブルとその対策②(秋・冬)						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験の結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	



## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	解剖生理学Ⅱ		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティック技術を行う上で大切ななのは、身体のメカニズムをより深く知ることで、トリートメントをさらに効果的に組み立てることができるようになる。</p> <p>・授業は講義形式で行い、身体に起こる様々な悩みの原因と身体のしくみの関連性を理解し、トリートメントの効果や目的などに合わせて施術が行えるように知識の向上を目指す。</p>						
到達目標	<p>①骨格や筋肉の位置、血液やリンパ液の流れ、自律神経系などの身体のメカニズムをより深く理解し、施術に生かす。</p> <p>②症状別に原因と対策を理解し、アドバイスができるような知識を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	下肢背面の筋肉とその働き						
第2週	腰背部の筋肉とその働き						
第3週	肩甲骨まわりの筋肉とその働き						
第4週	下肢前面の筋肉とその働き						
第5週	上肢の筋肉とその働き						
第6週	筋肉と骨格の復習						
第7週	運動の重要性とアンチエイジング						
第8週	体系のバランス						
第9週	症状別アドバイス 筋疲労						
第10週	症状別アドバイス 肥満						
第11週	症状別アドバイス むくみ						
第12週	症状別アドバイス セルライト						
第13週	症状別アドバイス 冷え						
第14週	症状別アドバイス 乾燥						
第15週	前期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を実施し、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティックカウンセリング		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・エステティックカウンセリングとは、お客様の心にある悩みを聴くカウンセリングと、お客様のお肌の悩みをプロとして解決に導くコンサルティングの2つの目的があることを理解する。</p> <p>・授業は主に講義形式で行い、お客様との信頼関係を構築する上でカウンセリングが重要な役割を持つことを教え授業内容によっては、カウンセリングの意味や効果、どのように導くと良いのかを学び実習も行う。</p>						
到達目標	<p>・社会人として、エステティシャンとして、求められる接客マナーを身に付けて、お客さまとのコミュニケーションを十分に図り、お客様に安心感を与えるカウンセリングと応対ができることをめざす。</p>						
授業計画・内容							
第1週	カウンセリングとコンサルティングについて						
第2週	エステティックカウンセラーの役割						
第3週	顧客心理と、エステティックカウンセリングの基本姿勢						
第4週	カウンセリングとコンサルティングの実際						
第5週	エステティックカウンセリングの流れ(受付対応とビフォーアフターカウンセリング)						
第6週	エステティックカウンセリングの流れ(施術中カウンセリングとアフターカウンセリング)						
第7週	接客マナー						
第8週	カウンセリングの実際						
第9週	カウンセリングシートの作成						
第10週	カウンセリングシートの作成						
第11週	カウンセリングの実習						
第12週	カウンセリングの実習						
第13週	カウンセリングの実習						
第14週	カウンセリングの実習						
第15週	後期試験対策						
評価方法	<p>・学期末試験で筆記試験を行い、その結果で成績を評価する。</p> <p>※評価目安:筆記試験の結果(100%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	フェイシャルエステティック応用演習			コース名	トータルビューティ(エステ)		
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	210 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・フェイシャルエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養ない、使用する化粧品、機器を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は主に実習演習で、肌状態に合わせたトリートメントを行い、肌の悩みを改善へと導く技術力を養う。また季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得すると共にプロとして、販売および接客力を養う。</p>						
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てれるようにする。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。</p> <p>③肌状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	校内コンテストの練習		第16週	冬のマッサージ①			
第2週	校内コンテストの練習		第17週	冬のマッサージ②			
第3週	校内コンテストの練習		第18週	冬のマッサージ③			
第4週	校内コンテストの練習		第19週	コンサルテーションの実習①			
第5週	春のマッサージ①		第20週	コンサルテーションの実習②			
第6週	春のマッサージ②		第21週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第7週	春のマッサージ③		第22週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第8週	春のマッサージテストの実施		第23週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第9週	ディープクレンジングのバリエーション		第24週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第10週	さまざまなパック		第25週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第11週	夏のマッサージ①		第26週	センター試験対策			
第12週	夏のマッサージ②		第27週	来客実習のトリートメント			
第13週	夏のマッサージ③		第28週	留学生交流授業のトリートメント			
第14週	ヘッドマッサージ		第29週	1年生交流授業のトリートメント			
第15週	前期試験対策		第30週	後期試験対策			
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技試験結果と小テストや 授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技試験結果(80%)・小テスト(10%)・授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	ボディエステティック応用演習			コース名	トータルビューティ(エステ)		
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・通年	時間数	150 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・ボディエステティックを理解し、コンサルテーションに基づくトリートメントを構成する力を養い、使用する化粧品、マッサージ技術を選択できるように実践学習する。</p> <p>・授業は実技演習で行い、肌状態に合わせたトリートメントを行い、ボディの悩みを改善へと導く技術力を養い、季節や肌状態に合わせたマッサージ技術を習得することやプロとして、販売および接客力を養う。</p>						
到達目標	<p>①お客様に合わせて、トリートメントプランが立てれるようにする。</p> <p>②トリートメントプランに合わせた技術が提供できる力を身に付ける。</p> <p>③身体の状態や悩みに合わせてマッサージの技術の選択、力加減ができるようにする。</p> <p>④プロとしてのおもてなしができるよう接客技術を身に付ける。</p>						
授業計画・内容							
第1週	校内コンテストの練習		第16週	機器による施術			
第2週	校内コンテストの練習		第17週	バンテージによる施術			
第3週	校内コンテストの練習		第18週	メジャーリングと身体の見方			
第4週	校内コンテストの練習		第19週	コンサルテーションの実習①			
第5週	下肢背面のマッサージ①		第20週	コンサルテーションの実習②			
第6週	下肢背面のマッサージ②		第21週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第7週	腰背部のマッサージ①		第22週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第8週	腰背部のマッサージ②		第23週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第9週	背面のマッサージテストの実施		第24週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第10週	下肢前面のマッサージと足つぼ①		第25週	コンサルテーションに基づくトリートメント			
第11週	下肢前面のマッサージと足つぼ②		第26週	センター試験対策			
第12週	デコルテ二の腕のマッサージ①		第27週	来客実習のトリートメント			
第13週	デコルテ二の腕のマッサージ②		第28週	留学生交流授業のトリートメント			
第14週	前面のマッサージの通し		第29週	1年生交流授業のトリートメント			
第15週	前期テスト対策		第30週	後期試験対策			
評価方法	<p>・定期試験を実施し、実技テストの結果と小テストや授業態度を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安:実技テストの結果(80%)・小テスト(10%)・授業態度(10%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 全6冊						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	エステティック集中演習		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	ルグラン美都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・せっかく身に付けた技術を忘れないために春休みに復習を兼ねた集中授業が必要であり、覚えてたの技術を継続することで身に付けさせることを目標にしている授業である。</p> <p>・授業は主に実技演習で行い、ボディ全身のオイルマッサージの技術を復習し、各手技の技術を向上させる。またフェイシャルのオイルマッサージを中心に復習及び技術を向上させる。</p>						
到達目標	<p>①全身のオイルマッサージの工程を覚え、技術力の向上をはかる。</p> <p>②フェイシャルトリートメントの技術力を向上する。</p>						
授業計画・内容							
第1週	ボディ オイルマッサージの復習 (背面下肢、腰背部、前面下肢のみ)						
第2週	臀部の学習 (マニュアル、ビデオによる学習及び実習)						
第3週	腹部の学習 (マニュアル、ビデオによる学習及び実習)						
第4週	臀部、腹部の復習						
第5週	テストの工程練習 及び テストの実施						
第6週	フェイシャルオイルマッサージの復習						
第7週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第8週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第9週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第10週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第11週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第12週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第13週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第14週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
第15週	春休みの集中授業として第1週～6週にまとめて実施						
評価方法	<p>・春休み中に実技試験を実施し結果と出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>評価目安:実技試験の結果(90%)・出席状況(10%)</p>						
教科書 教材など	新エステティック学 技術編						
実務経験	有限会社 サロンドフローラにてエステティシャンとして9年半勤務			実務経験のある教員による 授業科目		✓	

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	アロマセラピー		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	弘中小都子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	<p>・植物から抽出した精油(芳香物質)を使ったアロマセラピーの活用法を理解することで、美容と身体の健康維持についての方法を学ぶ。</p> <p>・授業は主に講義形式でアロマセラピーの定義や精油の基礎知識を教え、授業内容によっては実技演習で精油を使って作るクラフトづくりを通じて実際に香りをかぎながら行い理解度を高めていく。</p>						
到達目標	<p>・アロマセラピー検定1級合格を明確な目標と設定する。同時に日々アロマセラピーを活用し自己管理をしながら学校生活を送ることができるようにすることで、卒業後の就業に役立てることができるようにする。</p>						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、アロマセラピーの定義と精油の基礎知識						
第2週	精油の製造方法、精油の扱い方、保管方法、アロマセラピーの利用法①						
第3週	精油製造方法、精油の選び方、アロマセラピーの利用法②						
第4週	精油の安全性、アロマと自然環境について						
第5週	精油のプロフィール(各論)11種						
第6週	精油のプロフィール(各論)						
第7週	精油のプロフィール(各論)						
第8週	基材について(植物油、そのたの基材)						
第9週	精油が心身に伝わる仕組み						
第10週	皮膚の仕組み アロマセラピーとスキンケア、ストレスとアロマセラピー						
第11週	睡眠、運動、栄養の知識						
第12週	アロマセラピーと法律						
第13週	アロマセラピーの歴史(古代～中世)						
第14週	アロマセラピーの歴史(近代～現在)						
第15週	アロマセラピー検定対策 模擬テスト						
評価方法	<p>・学期末試験を実施せずに、授業内で模擬テストとアロマセラピー検定に即したミニテストと授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。</p> <p>※評価目安: 模擬テスト(70%)・小テスト(10%)・授業態度(10%)・出席状況(10%)</p>						
教科書 教材など	アロマセラピー検定 公式テキスト1級・2級(2019年1月改訂版)						
実務経験	アロマブランドメーカー勤務、2004年よりアロマスクール経営				実務経験のある教員による 授業科目		✓

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	サロン経営学			コース名	トータルビューティ(エステ)		
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業方法	メイクアップ、エステティック、ネイルなどのサービス提供者として店舗を運営をしていくにあたり、「運営・管理・教育」に関することを学ぶ。また、仕事に従事し、サロンを運営する一員としての自覚を養う。授業は講義形式で行う。						
到達目標	経営者でなくとも、ビューティ業界の一員としてお客さまが安心して任せられるサロン作りの一翼を担うスタッフとしての経営意識をもって仕事に取り組むことができることを目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	サロン経営学の授業概要、受講上の注意						
第2週	サロン経営とは サロンを取り巻く環境						
第3週	サロン開設①(サロンコンセプト)						
第4週	サロン開設②(マーケティング、競合分析)						
第5週	サロン開設③(サロンメニュー作り)						
第6週	サロン開設④(広告、SNS)						
第7週	サロン開設⑤(資金、書類)						
第8週	サロンの運営と管理①(就業規則、スタッフマネジメント)						
第9週	サロンの運営と管理②(トレーニング計画、教育)						
第10週	サロンの運営と管理③(顧客マネジメント、クレーム管理)						
第11週	サロンの運営と管理④(リピートする仕組み作り、キャンペーンの作り方)						
第12週	サロンの運営と管理⑤(資産管理、売り上げ管理)						
第13週	法令遵守(コンプライアンス)						
第14週	社会人としての心構え①(学生と社会人の違い、入社から退社までの基本ルール)						
第15週	社会人としての心構え②(職場の人間関係、注意・忠告の受け方や仕方)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(60%)・課題提出(20%)授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント						
実務経験	なし				実務経験のある教員による 授業科目		

## 2019年度 授業計画(シラバス)

科目名	就職ゼミ		コース名	トータルビューティ(エステ)			
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業方法	就職活動に必要な知識(筆記対策、面接対策など)を学ぶ。また、授業時間外に就職に関するガイダンス・企業説明化等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進捗に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職活動にあたって必要な知識を身につけ、就業先を決定できるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	グループワーク						
第2週	グループワーク						
第3週	SPI試験練習①(割合、比)						
第4週	SPI試験練習②(損益算)						
第5週	SPI試験練習③(確率)						
第6週	SPI試験模擬練習(言語分野)						
第7週	SPI試験模擬練習(非言語分野)						
第8週	SPI試験模擬練習(性格適性分野)						
第9週	グループディスカッション						
第10週	グループディスカッション						
第11週	一般教養①(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、年齢計算)						
第12週	一般教養②(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、確率)						
第13週	一般教養③(同音異義語、二語の関係、計算問題、割合、場合の数)						
第14週	一般教養④(同音異義語、熟語の成り立ち、計算問題、割合、清算)						
第15週	一般教養⑤(同音異義語、熟語の成り立ち、計算問題、割合、仕事算)						
評価方法	定期試験、課題内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安: 定期試験(60%)・課題提出(20%) 授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント						
実務経験	なし			実務経験のある教員による 授業科目			